「希望・創造・友情」　あふれる学校
すずかぜ
都立花畑学園
第１２号
R7／2／25 発行
花畑学園の学校だより

それぞれの強みを生かした豊かな教育活動へ・・

副校長　野澤　良介

今年度も残すところわずかとなり、登校日は本日を含めて20日となります。教育活動も今年度のまとめの時期となり、卒業学年はいよいよ卒業式に向けて準備を進めていきます。

さて、明日は全校保護者会となりますが、学校評価と学校マネジメントリポートの報告をさせていただきます。今年度、花畑学園で取り組んだ特色ある取組をまとめさせていただきました。地域が集う・つながる学校行事の実施や学び・学びあいの教育活動の実施など、子どもたちの豊かな成長に向けて学校スタッフ一同取り組んでまいりました。至らない部分はあったかとは思いますが、様々な教育活動が実施できたのも、保護者の皆様の御理解と御協力があったからこそと考えています。

学校マネジメントリポートの表紙には、「対話・創造・挑戦（はなそう・つくろう・やってみよう）」と記載されています。学校スタッフ、地域の皆様、保護者の皆様と対話を通して連携し、様々な教育の機会を創り出していくという願いを込めて、学校長が定めた経営スローガンとなります。副題に“Everybody has talent!”とあります。直訳すると「だれもが才能をもっている」です。人は誰でも強みや弱み（得意なことや不得意なこと）があります。弱い部分や苦手な部分を補っていくことは教育活動の重要な役割ですが、その原動力となるのは、その人の「強み」を生かしていくことだと考えています。子どもたちは様々な可能性を秘めています。それぞれの強みを生かし、豊かな教育活動につなげていきます。学校評価の結果と学校マネジメントリポートは、２月２６日にさくら連絡網にてメール配信いたします。御一読いただければ幸いです。

【肢体不自由教育部門　高等部より】　　　高等部主任　湯川　輝一

１０年に一度という極寒で冬らしい寒さが続くなか、春の兆しの強風も吹き始めました。いわゆる「春一番」です。続く強風を、春二番、春三番といい、この時期の寒暖差につながります。そんな中ですが、生徒たちは様々な活動で力強く生活をしています。

２月５日に生徒会選挙がありました。立候補者の生徒と選挙管理委員会の生徒と、双方に活躍しました。当日は足立区の選挙管理委員会に本物の投票箱をお借りし、主権者教育の充実を図ることができました。２月15日には、本校にて第36回東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会が行われ、運動部員が日頃の練習の成果を発揮しました。このような生徒たちの取り組みにより、主体的な自治を通して生活が充実しています。高等部生徒の更なる飛躍が楽しみです。

【教育相談部・進路交流部より】　　　担当主幹　中村　文香

１月と２月に１日ずつ学生服業者が来校し、標準服の採寸を行いました。「制服」のように指定されているものではないため、「標準服」としています。ジャケットやスラックス、スカートなどを試着し、一気に中学生らしくなった姿がまぶしかったです。

知的障害教育部門中学部の体操服については、近隣の業者に御協力いただき、今年度から標準服採寸の隣の部屋に試着コーナーを設けました。知的障害教育部門中学部は学年ごとにカラーを分けていて、新中１は青色、新中２は赤色、新中３は緑色となっています。体操服も指定のものではないのですが、学年の色を合わせていただいています。

早いものでもうすぐ３月。着々と新年度の準備が進んでいます。春が待ち遠しいですね。